

岐阜市民病院

病院の概要

開設時期：昭和16年12月15日
開設者：岐阜市長 柴橋 正直
院長名：山田 誠
病床数：555床
標榜科：総合診療・膠原病内科、糖尿病・内分泌内科、精神科、脳神経内科、呼吸器・腫瘍内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、腎臓内科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、歯科、歯科口腔外科

医師数：191名
指導医師数：78名（臨床研修指導医講習会修了者）
外来患者数：1,177名／日
入院患者数：488名／日
所在地：岐阜市鹿島町 7-1
URL：https://gmhosp.jp/



病院の特徴

当院は、「心にひびく医療の実践」を基本理念としている。多職種間のコミュニケーションが良好で「チーム医療」のやりやすさにもつながっている。多くの分野において本邦でもトップレベルの高度先進医療を体感でき、臨床、教育、研究、学会発表などを積極的に行っている。また、地域医療支援病院、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院などの指定を受けており、市民に愛される身近な病院でありながらも、中核病院として、岐阜地域の医療に貢献している。

院長メッセージ



山田 誠
（外科）

当院は DPC 標準病院群 1 の指定を受け、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院、がんゲノム医療連携病院、紹介受診重点医療機関などにも指定され、地域の高度急性期医療を牽引する中核病院の役割を果たしています。機能に見合う豊富な症例と確かな実績があり、医師としての土台を築くにふさわしい、充実した臨床研修環境を提供しています。

そして、手術支援ロボット（ダビンチ Xi）をはじめとする最先端の医療機器を完備し、各専門分野の第一線で活躍する指導医層も厚く、先端医療からプライマリ・ケアまで、皆さんの「学びたい」という意欲に十分に応えられる体制を整えています。

当院のもう一つの強みは、職種の垣根を越えたチームワークの良さです。院内イベントなどを通じた多職種間の交流も盛んで、研修医にとっても非常に居心地が良く、相談しやすい環境が自慢です。ホームページには先輩研修医のリアルな声も掲載していますので、ぜひ参考にしてください。志高き皆さんが当院の初期臨床研修に来ていただき、医療現場で切磋琢磨し、次世代を担う医師へと成長されることを、職員一同心より応援しております。

指導医メッセージ

平成16年度から開始された研修医制度も23年目を迎え、当院では240名が初期臨床研修を修了して巣立ち、各領域で活躍しております。そして、令和8年4月には16名の新研修医を迎えてスタートしました。当院では、岐阜市民病院臨床研修の理念と基本方針を掲げ、社会人として医師として社会に貢献できる人材の育成に心掛けてまいりました。そのために、研修医や研修修了後の若手医師の意見も聞きながら、より充実した研修環境の整備と研修プログラムの改善に研修管理委員会を中心として常に取り組んでいます。

研修医メッセージ

当院の研修の特徴は、救急プログラムにおいて、1年目、2年目が同時に回ることで話しやすい先輩方と相談しながら知識を深めることができる点です。また、1年目から脳外、整形、泌尿器、耳鼻、産婦人科を選択可能なため、救急で出会う幅広い疾患について早い段階から対応できる知識・技能を身につけることができます。さらに夜間休日の救急外来において、上級医の指導の下全ての患者を自分で診察し、検査・治療をオーダーします。全例上級医にコンサルトしますので、困ったときや分からない時のフォロー体制が整う中でスキルアップが図れます。当院の先生方、看護師さんは非常に優しく、スタッフとのイベントも色々あります。夏休みや有給も問題なく取得できるので、仕事もプライベートも充実した研修生活を送りたい方はぜひ来てください！

研修スケジュール

プログラム Ⅸ	1 年次	26週					6 週	4 週	4 週	4 週	6 週
		内科系※ ¹					外科系※ ²	小児	救急	麻酔	選択※ ³
	2 年次	4 週 産婦人	4 週 精神	4 週 救急	4 週 地域医療	2 週※ ⁴ 一般外来	30週 自由選択				

備考 ※¹ 消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、総合内科を各 4 週、脳神経内科と腎臓内科を各 3 週の計26週
※² 外科 4 週、呼吸器外科・心臓血管外科か乳腺外科のいずれかを 2 週選択の計 6 週
※³ 脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、産婦人科から 2 週単位で計 6 週選択
※⁴ 4 週間の午前のみ市内のクリニックで研修を行う（実質 2 週）
※救急研修を 1・2 年次に屋根瓦方式で段階的に研修、一般的疾患から専門性の高い疾患まで幅広い対応力を修得できる

研修協力病院・施設

協力型臨床研修病院		岐阜県立下呂温泉病院
岐阜大学医学部附属病院		
臨床研修協力施設		
国保坂下診療所	県北西部地域医療センター国保和良診療所	下呂市立金山病院
国保上矢作病院	岐阜市保健所	岐阜県赤十字血液センター
美濃市立美濃病院	下呂市立小坂診療所	東白川村国保診療所
郡上市民病院	鷺見病院	揖斐郡北西部地域医療センター
県北西部地域医療センター国保白鳥病院	県北西部地域医療センター国保高鷺診療所	県北西部地域医療センター国保白川診療所
飛騨市民病院	シティ・タワー診療所	医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック
あんどう内科クリニック	操外科病院	矢嶋小児科小児循環器クリニック
医療法人かがやき 総合在宅医療クリニックみの	ゆりかご助産院	

後期研修・専門研修（予定）

（内科）当院は内科の基幹病院として、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、総合診療・膠原病内科、腎臓内科、脳神経内科の各専門医のもとで、バランスの取れた十分な研修を行うことができます。また県内外の多くの病院と連携をとっており、様々な経験を積むことができます。

（精神科）当院を基幹施設とし、岐阜病院、各務原病院、養南病院の 3 病院を連携施設とするプログラムです。特色ある各施設での研修により、多くの症例を経験することができます。当院は地域でも数少ない有床精神科を持つ総合病院であり、他診療科と連携した症例も経験できます。また、連携施設の精神科単科病院にて、地域精神医療なども幅広く研修できます。

（内科・精神科以外）内科・精神科以外の診療科においても岐阜大学の各専攻医プログラムの主な連携施設となっており、各診療科の経験豊富な専門医のもと十分な研修を行うことができます。

（全般）当院では、各診療科、各部門との垣根が低く、各診療科との連携も良いため、様々な臨床的な問題や疑問も解決しやすいことが特徴的です。毎年、初期臨床研修医の半数以上が当院での専攻医研修を行なっていることから、働きやすい環境といえます。このような恵まれた医療環境、教育環境の当院に多くの皆さんが来ていただけることを心よりお待ちしております。

研修プログラムの目標

医師としての基本的価値観を自らのものとし、基本的診療業務ができるレベルの資質・能力を修得することを目指しています。臨床における幅広い知識・技術を習得し、社会人として地域医療に貢献できるような、あるいは最先端の知識や技量を身につけ医療の進歩に貢献できるような医師を育てる研修を目指しています。

募集要項

応募資格：令和10年3月に医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：16名（予定）
身分：会計年度任用職員（常勤）
給与：与：年額約7,030,000円（令和7年度実績）（諸手当含む。当直回数等で変動あり）

住居：等：あり（約19,000円～約25,000円。令和7年度実績）
保険：等：共済保険・厚生年金加入、公務災害補償有、医師賠償責任保険は病院で加入

連絡先

電話番号：058-251-1101
fax：058-252-1335
E-mail：c.kensyu01@gmhosp.gifu.gifu.jp

研修プログラムの特徴

市中中核病院ならではの Common Disease から専門疾患まで広く実践的な研修が可能です。救急研修では、1年目と2年目の屋根瓦方式で行い、段階的に救急の知識・技術を研修する体制としています。さらに1年目の時点で、救急で遭遇することが多い専門科目（脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、産婦人科）を選択必修、小児科を必修としているため、幅広く救急に対応するための知識・技術が習得できるようにしています。

交通案内



JR 岐阜駅、名鉄岐阜駅からバスで約15分